

昭和4年制作・無声映画作品・温泉悲話 MISASA KOUTA

三朝小唄

上映会

昭和初期の無声映画は一割程度しか現存しておらず大変貴重なものです。80年前に制作されたこの無声映画を地元住民の活弁と音楽により上映いたします。

昭和4年に制作された無声映画「三朝小唄」



マキノ・プロダクション作品
／指揮・牧野省三

脚本・監督 人見吉之助
撮影 木村角山

出演 岡島艶子 秋田伸一 柳毒麗三 岡村義三 藤川ちみ 多美一 馬美枝

上映日時・会場
平成22年 11月6日土
平成23年 1月22日土、2月19日土
16:30~17:30
三朝温泉 観光商工センター [和室]
観料:500円

三朝小唄の活動弁士たち!

梅の丞
そつと合わせる心懐に、今日も三朝に雨がふる

みんな
涙でふるえる声心はまれば泣ける一発屋

アラカンます子
心踊る活弁があなたのハートにひびきます

栗原ちまき
知恵と勇気を方言で心をこめてつとめます

松田いなほ
トランペットを声にもちかえて声音強く高らかに

山崎くりいむ
雨あがりあなたの心を虹色に

「三朝小唄」ロケ地マップ。

三朝温泉の今昔をめぐる

- ◆ 映画「三朝小唄」の撮影地点(現存)
- ◇ 映画「三朝小唄」の撮影地点(当時)
- 三朝小唄いゆかりのある地点

【フランチャールみささ付近】



祭でにぎわう村人たち

【三朝川の中州】



語り合っお久と俊夫

【三朝川温泉街】



三朝川沿いに並ぶ温泉旅館

【岩崎旅館前】



木之助から逃げるお久

【三朝小唄】あらすじ

東京から三朝温泉にやってきた画家の俊夫と美しい娘お久が恋におちた。二人は静かに愛を育み、お久を妻に迎え東京に連れて帰ることを決心する俊夫。しかし、お久は酒におぼれ娘たちの稼いで暮らす心ない養父によって鳥取へ売られる運命に…。そんな折、俊夫のもとへ許嫁で瀕死の淵にいる通子の弟が俊夫を迎えに東京からやってくる。二人の恋の行方は…。

【天岩付近】



木之助から逃げるお久

【かじか橋】



三朝橋

※昭和4年当時は「大岩橋」だった

三朝橋

※昭和4年当時

●【三朝小唄歌碑・モニュメント】

たまわりの湯

陣所の館

薬師の湯

三朝ふれあい会館

株湯

三朝神社

県道21号線

至 三徳山・鹿野

【天岩】



お久を描く俊夫

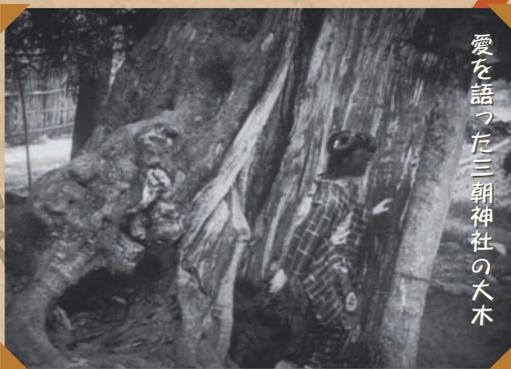


【木屋旅館】



【岩湯旅館】

【三朝神社の大木】



愛を語った三朝神社の大木

【三朝橋】



語り合っお久と俊夫

三朝小唄
曇りや三朝がよ
雨となる
泣いて別れい
イシヨ空までエー
ヨイトヨイトヤ
ヤ